

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(1) 協働のまちづくりの推進
施 策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	糸島市民まつり事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	糸島市を代表するイベントとして「糸島市民まつり」を市民協働で実施することにより、糸島市が目指す「人も元気 まちも元気新鮮都市 いとしま」を実現し、地域活性化、一体感の醸成、糸島市のPRを図る。			事業主体	糸島市民まつり振興会			
				実施方法	補助			
事業内容	糸島市の持つ人と地の「力」を最大限に活かすため、市職員と市民から選出されたボランティアの実行委員が協働でイベントを企画し、子どもから大人まで幅広い年齢層の人たちが会場に集い、参加し、楽しめるまつりを開催する。 ○メイン会場(志摩庁舎駐車場):野外ステージ・糸島グルメグランプリ・糸島よかもん物産展など ○花火大会(加布里漁港広場)			進捗状況・現状	平成26年度は、10月4日・5日に開催。メイン会場(志摩)、花火会場で約60,000人が来場。平成27年度は、10月3日・4日で開催。今年は5周年記念の市民参加の自慢大会やグルメグランプリのスイーツ部門の新設など、例年より盛り上がるイベント内容となっている。			
事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	21,000	千円	(うち市予算化分) 21,000	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	地域の活性化・市民の一体感の醸成	活動指標	市民まつりに参加した市民団体等の出店数・出演数(団体)			0	108	150
		成果指標	来場者数(人)			0	60,000	70,000

【事業費について】

		(単位:千円)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	7,000	7,000	7,000	21,000	
事業費(A)		7,000	7,000	7,000	21,000	
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.3	0.3	0.3	平均人件費	8,700
人件費(B)		2,610	2,610	2,610	人件費割合(%)	27.2
総コスト(A+B)		9,610	9,610	9,610	総コスト計	28,830
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(1) 協働のまちづくりの推進
施 策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	いとしまシンボル普及事業			担当部課	企画部	シティセールス課		
事業目的	市のイメージキャラクター及びイメージソングを活用し、市のイメージアップやPRを行い、地域活性化につなげる。			事業主体	糸島市			
				実施方法	一部委託			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージキャラクターをイベントや施設などに派遣してPRを行うことで、市内の幼児～小学低学年及びその保護者を中心にファンを増やし、市内外の企業や団体のイラスト利用を促進することにより、一層の認知浸透を図る。 同時にHPやブログを運営し、web上でも「いとゴン」に常に触れることができる体制を維持する。 ・H25年度に作成したイメージソングのコーラス・楽団用楽譜の、市内小中学校や団体への利用促進を図る。またその一環で唄人羽による曲披露により認知拡大を図る。 			進捗状況・現状	イメージキャラクターは、平成24年度に福岡県緊急雇用創出事業を活用し、派遣、HP・ブログの制作を行った。平成25～26年度は、平成24年度の体制をもとに、いとゴンの普及浸透に努めている。イメージソングは、平成24年度にCDを発売し、記念イベントを2回開催。平成25年度は、コーラス・楽団用の楽譜を作成し、演奏会で演奏された。一層の利用促進を図る。			
事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	11,211	千円	(うち市予算化分) 11,211	千円	予算科目	款	項	目
						7	1	2
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	地域経済の活性化、市民の郷土愛の醸成など	活動指標	いとゴンの派遣(回) 作曲家による曲披露(回)			130 0	100 0	96 1
		成果指標	いとゴンのイラスト申請(件) イメージソングの認知度(%)			101 20%(推計)	101 20%(推計)	150 90%

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,737	3,737	3,737	11,211
事業費(A)		3,737	3,737	3,737	11,211
事業費内訳(主なもの)		委託料、諸謝礼等	委託料、諸謝礼等	委託料、諸謝礼等	
従事職員数(人)	0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)	1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	31.8
総コスト(A+B)	5,477	5,477	5,477	総コスト計	16,431
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	広域連携プロジェクト		担当部課	企画部	地域振興課	
事業目的	潜在的な市民の能力を活用し、分野や担当部署ごとに行っていた各種事業を、総合的に実施することにより、それぞれの事業等の良さを相互に補完させ、生活の質の水準を高め、市民の満足度向上を図る。		事業主体	糸島広域連携プロジェクト推進会議		
			実施方法	負担金		
事業内容	①九州大学と連携した教育向上プロジェクト ・九大生による学習応援「九大寺子屋」の開設 ②糸島の未来の人材を創るプロジェクト ・糸島市民が誰もが誇れる「いとしま学」事業の実施 ・未来の糸島を創る「未来のいとしま学」事業の実施 ③糸島魅力をいかした観光づくりプロジェクト ・糸島の魅力を発信する体験型観光の実施		進捗状況 ・ 現状	○地域の持つ魅力を生かして地域の活性化を図る広域プロジェクト事業を実施 ・福岡県内に設定された15の広域地域振興圏ごとに、県と市とで組織する協議会を設置し事業を推進 ・事業費は県と市で2分の1ずつ負担 ・平成27年7月14日に協議会が設立(事務局は福岡県)		
事業期間	平成27年度～平成29年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	28,992	千円	(うち市予算化分)	14,224	千円	
			予算科目	款	項	目
				2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値
協働のまちづくりに参加する市民	自身の持つ能力をまちづくりに発揮する機会の創出	活動指標	市民との協働で実施する事業数	0	0	5
		成果指標	市民協働事業に参加する人数	0	0	2,420

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	(7,384)	(7,384)		(14,768)	
		7,384	7,384		14,768	
	地方債					
	その他					
	一般財源	7,112	7,112		14,224	
事業費(A)		(7,384)	(7,384)	(0)	(14,768)	
		14,496	14,496	0	28,992	
事業費内訳(主なもの)		報償費 需用費等	報償費 需用費等			
従事職員数(人)		0.05	0.05		平均人件費	8,700
人件費(B)		435	435	0	人件費割合(%)	2.9
総コスト(A+B)		14,931	14,931	0	総コスト計	29,862
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
						県:市 1:1

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(1) 協働のまちづくりの推進
施策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	市民提案型まちづくり事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	NPOやボランティアの持つ専門性、迅速性を生かして地域の課題解決を図ることを目的に、市内で活動する団体が独自の発想を持って提案する事業で、協働のまちづくりと団体の育成、充実につながるものについて補助する。			事業主体	糸島市			
				実施方法	補助			
事業内容	<p>【事業内容】 NPO・ボランティア団体、市民グループ等が自主的に取り組むもののうち、地域の活性化や地域の課題解決に向けて、市民の自由な発想を生かした多様で効果的かつ効率的なサービスを提供する市民ニーズを捉えた事業について助成</p> <p>【補助対象者】 営利活動、政治活動または宗教活動を目的とせず、市内に事務所を有し活動するもの</p> <p>【補助金の額】 1事業50万円以内で予算の範囲内の団体に補助</p>			進捗状況 ・ 現状	平成26年度は、9団体(3,200千円)の提案があり、7団体(1,319千円)に交付。平成27年度は、8団体(2,735千円)の提案があり、7団体(2,378千円)に交付。公開プレゼンテーションは、各団体の情報発信、情報共有の効果があり、市民活動の促進にもつながった。現在、助成を受けずに自立して活動している団体数は、平成25年度6団体、平成26年度は5団体となっている。			
	事業期間	平成22年度～平成28年度(7年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	20,433	千円	(うち市予算化分) 20,433	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値		求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
糸島市で活動するNPO、ボランティア等の市民	NPO、ボランティア団体等の育成・充実		活動指標	交付団体数(団体)	0	68	100	
			成果指標	地域の課題解決を図る事業の提案数(件)	0	97	150	

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	3,609			3,609		
事業費(A)		3,609	0	0	3,609		
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金				
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700	
人件費(B)		2,610	0	0	人件費割合(%)	42.0	
総コスト(A+B)		6,219	0	0	総コスト計	6,219	
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(1) 協働のまちづくりの推進
施 策	① 広報広聴を強化し、まちづくりへの市民参加を促進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	福岡マラソン実施事業			担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	スポーツの振興と地域の活性化を図り、「福岡・糸島」地域一帯の魅力を高めることを目的に「福岡マラソン」を開催する。併せて、大会を盛り上げ、糸島市を積極的にPRするため、糸島市独自の事業を展開する。			事業主体	福岡マラソン糸島協力会			
				実施方法	補助			
事業内容	福岡市都心部をスタートし、糸島市でフィニッシュする市民参加型フルマラソンを開催する。また、大会に併せ、糸島市独自にイベントやおもてなしに関する事業を実施する。 開催時期:平成28年11月 種 目:フルマラソン、ファンラン(5km) 定 員:フルマラソン10,000人、ファンラン2,000人			進捗状況 ・ 現状	福岡マラソン糸島協力会会員:72団体(H27.4) 平成27年度事業実績 ・応援事業:12事業 ・もてなし事業:38事業			
事業期間	平成26年度～平成28年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	33,000	千円	(うち市予算化分) 33,000	千円	予算科目	款	項	目
						10	5	1
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	一体感の醸成	活動指標	福岡マラソンの開催			未開催	2	3
		成果指標	ボランティアや沿道イベントなどへの市民参加人数(人/年)			0	2,000	3,000

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	10,000			10,000	
事業費(A)		10,000	0	0	10,000	
事業費内訳(主なもの)		補助金				
従事職員数(人)		0.4			平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	0	0	人件費割合(%)	25.8
総コスト(A+B)		13,480	0	0	総コスト計	13,480
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(1) 協働のまちづくりの推進
施 策	② 地域主権のまちづくりのための体制を確立する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	行政区等公民館及び児童遊園地施設等補助事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	地域コミュニティ活動の推進及び生涯学習活動の振興を図るため、行政区等が設置し、管理する公民館の建設等及び児童遊園地の施設整備並びに当該用地購入に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。			事業主体	各行政区等			
				実施方法	補助			
事業内容	申請団体に対し、規程に基づき交付を行っている。 (補助対象事業費100万円以上) ・行政区公民館 事業費の25%相当額を補助(500万円を限度) ・隣組公民館 事業費の20%相当額を補助(400万円を限度) ・児童遊園地 事業費の25%相当額を補助(45万円を限度)			進捗状況 ・ 現状	平成22年度 7件 4,274千円 平成23年度 8件 8,904千円 平成24年度 7件 9,653千円 平成25年度 10件 10,882千円 平成26年度 10件 14,181千円 平成27年度 8件 10,399千円 (予算)			
事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	16,229	千円	(うち市予算化分) 16,229	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	17
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	地域コミュニティの充実	活動指標	行政区等公民館建設・改修件数(件)【事業期間の平均件数】	0	8	10		
		成果指標	行政区等公民館利用者の満足度(%)	0	0	80		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,229	5,000	5,000	16,229	
事業費(A)		6,229	5,000	5,000	16,229	
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.2	0.2	0.2	平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	1,740	1,740	人件費割合(%)	24.3
総コスト(A+B)		7,969	6,740	6,740	総コスト計	21,449
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(1) 協働のまちづくりの推進
施 策	③ いとしま共創プラン（小学校区を核とした地域主権のまちづくり）を進める
重点プロジェクト	校区まちづくり推進プロジェクト

【事業の内容について】

事 業 名	校区まちづくり推進事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	地域にある課題の解決や地域資源を活用したまちづくりを行うため、小学校区を単位とする地域コミュニティの振興を図る。			事業主体	各校区運営委員会等			
				実施方法	補助			
事業内容	長期総合計画の重点プロジェクトである校区まちづくり事業を推進するために、各校区で計画した事業で、事業の継続性・発展性があるもの、校区の課題解決につながるもの、魅力ある資源や人材を活用するものについて人的・財政的支援を行う。 ①財政的支援 校区まちづくり推進事業補助 1校区100万円(補助率90%) ②人的支援 市職員は、校区のまちづくりをサポートする。			進捗状況・現状	全校区でまちづくり計画が策定済。 平成26年度より、校区まちづくり推進事業実施要領を改正。 平成22年度～25年度は、実践事業・15校区163事業で75,525千円、施設等整備事業・15校区60事業で73,258千円を交付。 平成26年度は、15校区55事業で12,444千円を交付。 校区支援体制では、平成27年度75人体制で積極的に支援している。			
事業期間	平成22年度～平成29年度(8年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	212,739	千円	(うち市予算化分) 212,739	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	地域コミュニティの強化	活動指標	地域団体等が行う事業の円滑な実施数(事業)	0	278	378		
		成果指標	地域の行事へ参加している割合(%)	0	29.8	50		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	17,795	15,000		32,795
	一般財源				
事業費(A)		17,795	15,000	0	32,795
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.3	0.3		平均人件費 8,700
人件費(B)		2,610	2,610	0	人件費割合(%) 13.7
総コスト(A+B)		20,405	17,610	0	総コスト計 38,015
特定財源の名称(用途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(2) 生涯学習機会の充実
施 策	⑤ 生涯学習環境を整備し、学びを支援する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	市立公民館設備改修事業			担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	雷山及び前原公民館の空調設備は設置から15年以上経過しており、故障が頻発している。また設置している機械メーカーが統廃合され、今後、故障した場合部品の調達ができないため、整備を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	【雷山公民館】 空調機器設備工事、空調配管設備工事 【前原公民館】 空調機器設備工事、空調配管設備工事			進捗状況・現状	雷山及び前原公民館の空調設備は設置から15年以上経過しており、故障が頻発している。公民館は避難所としての機能も求められ、緊急度は高い。			
事業期間	平成29年度～平成30年度(2年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	21,152	千円	(うち市予算化分) 21,152	千円	予算科目	款	項	目
						10	4	3
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
施設利用者	快適な施設利用	活動指標	空調改修が必要な公民館数	2	2	0		
		成果指標	空調関係修繕費用の支出額(H22～H26)	—	1,520千円	0		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	(単位:千円)	
					合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		11,956	9,196	21,152	
事業費(A)		0	11,956	9,196	21,152	
事業費内訳(主なもの)			空調設備改修工事	空調設備改修工事		
従事職員数(人)			0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費(B)		0	4,350	4,350	人件費割合(%)	29.1
総コスト(A+B)		0	16,306	13,546	総コスト計	29,852
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(2) 生涯学習機会の充実
施 策	⑦ スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	野球場改修整備事業			担当部課	教育部	生涯学習課		
事業目的	野球場の改修を行い、施設の安全性及び利便性を高め、利用者の増加を促すなどのスポーツ振興を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	野球場の危険個所の改修及びトイレの一部洋式化を計画的に行う。 ・曾根野球場防球ネット設置工事(一塁側)H-10m L-100m ・野球場トイレ下水化及び一部洋式化 本館工事L-100m ・芥屋野球場防球ネット設置工事(三塁側)H-12m L-80m ・芥屋野球場トイレ簡易水洗化 ・曾根野球場防球ネット設置工事(三塁側)H-10m L-100m			進捗状況・現状	曾根野球場は両翼フェンスが低く、特にライト側については下の運動場へボールが飛んでいくため極めて危険な状況。トイレ浄化槽の処理槽が老朽化し、漏水が生じるなど修繕件数が増加している。 芥屋野球場とともにトイレの老朽化が著しく、和式便器しかない状況。特に芥屋野球場のトイレについては、普通便槽で衛生的でない。			
事業期間	平成29年度～平成31年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	37,999	千円	(うち市予算化分) 37,999	千円	予算科目	款	項	目
						10	5	2
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
体育施設利用者	安全に体育施設を利用したい。快適に体育施設を利用したい。	活動指標	安全で快適な体育施設の整備(件)			0	0	6
		成果指標	体育施設利用人数(人)			145,439	145,439	152,700

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源		10,044	9,230	19,274
事業費(A)		0	10,044	9,230	19,274
事業費内訳(主なもの)			工事請負費	工事請負費	
従事職員数(人)			0.2	0.2	平均人件費 8,700
人件費(B)		0	1,740	1,740	人件費割合(%) 15.3
総コスト(A+B)		0	11,784	10,970	総コスト計 22,754
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(2) 生涯学習機会の充実
施 策	⑦ スポーツ環境を整備する
重点プロジェクト	子育て支援プロジェクト、移住支援プロジェクト

【事業の内容について】

事 業 名	雷山運動広場整備事業			担当部課	企画部	企画秘書課		
事業目的	雷山耕地池埋立地については、将来スポーツ施設として整備してほしい、という意向で寄附を受けている。該当地は平成27年9月までで九州電力と賃貸借契約を締結しており、その契約が終了することから、スポーツ施設等として整備を行う。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	耕地池跡地の木柵フェンス工事 H=2.0m、L=600m 連絡通路の造成 W=6.0m、L=9.0m 駐車場整備 関連水路整備(張コンクリート) 草刈り 4,818㎡			進捗状況・現状	H22 耕地池の寄附受け入れ H27.4 運動公園等整備構想が策定され、当該運動広場が候補地と決定 H27.9 九電賃貸借契約終了			
事業期間	平成28年度			会計種類	一般会計			
総事業費	5,797	千円	(うち市予算化分) 5,797	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	運動施設の安全な利用	活動指標	フェンスの整備(m)	0	0	600		
		成果指標	利用者数(人)	0	0	7,000		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源	5,797	624	624	7,045	
事業費(A)		5,797	624	624	7,045	
事業費内訳(主なもの)		工事委託費			平成29年度以降は、維持管理	
従事職員数(人)		0.4			平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	0	0	人件費割合(%)	33.1
総コスト(A+B)		9,277	624	624	総コスト計	10,525
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(3) 人権・同和教育の推進
施 策	⑧ 人権問題解決のための啓発活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	糸島市人権センター改修工事			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同 参画推進課		
事業目的	人権啓発・住民交流の拠点として施設の機能充実を行い、市民利用促進と人権啓発事業の充実を図る。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	2階 ピクチャーレール等の設置、カーテン取り替え 3階 カーテン取り替え			進捗状況 ・ 現状	昭和57年3月 人権センター新築 平成11年3月大規模改修工事 (空調機取替、防水工事、クロス 張替工事、ガス給湯器取替え)			
事業期間	平成 27年度 ~ 平成28年度(2年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	23,359	千円	(うち市予算化分) 23,359	千円	予算科目	款	項	目
						3	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
利用者	利用者の利便性	活動指標	人権センター空調機改修工事			0	50	100
		成果指標	施設利用者の増加(人) 合併後の平均増加率(1.04)			平成20年度 実績 31,621	平成26年度 実績 54,528	平成29年度 61,337

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	(単位:千円)	
					合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金				0	
	地方債					
	その他					
	一般財源	750			750	
事業費(A)		750	0	0	750	
事業費内訳 (主なもの)		工事請負費				
従事職員数(人)		0.125			平均人件費	8,700
人件費(B)		1,088	0	0	人件費割合(%)	59.2
総コスト(A+B)		1,838	0	0	総コスト計	1,838
特定財源の名称 (使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付 税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(4) 男女共同参画の推進
施 策	⑨ あらゆる分野において男女共同参画を実現するための取組を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	男女共同参画推進強調月間PR事業			担当部課	人権福祉部	人権・男女共同参画推進課		
事業目的	第2次糸島市男女共同参画社会基本計画の策定を踏まえ、市長公約である「男女共同参画の推進」に向け、一つの大きな柱である「ワーク・ライフ・バランス」の認知度を高める。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	男女共同参画推進強調月間である6月に、以下の啓発事業を実施する。 ●男女共同参画記念式典と講演会の同時開催 男女共同に関する記念式典とメディア等で著名な講師を招く講演会を同時に開催することで、普段関心がない方に対するPR効果を高める。 ●「ワーク・ライフ・バランス」リーフレットの作成、配布 市内企業の先進事例等を掲載したリーフレットを作成し、講演会や街頭啓発で配布することで、市民だけでなく、企業に対しても認知度を高め、PR効果をあげる。			進捗状況・現状	●平成27年1月に実施した「第1回糸島市 男女共同参画に関する市民意識調査」 【設問】「ワーク・ライフ・バランス」について、どの程度知っていますか ・よく知っている 10.2% ・少し知っている 18.1% ・(あまり)知らない 63.2%			
事業期間	平成 28年度			会計種類	一般会計			
総事業費	2,400	千円	(うち市予算化分) 2,400	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	11
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果 (単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	市民の意識向上	活動指標	男女共同参画記念式典の開催(回)	0	0	1		
		成果指標	男女共同参画記念式典の参加者数(人)	0	0	300		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	482			482	
	一般財源	1,918			1,918	
事業費 (A)		2,400	0	0	2,400	
事業費内訳 (主なもの)		報償費、需用費、委託料、使用料				
従事職員数(人)		0.4			平均人件費	8,700
人件費 (B)		3,480	0	0	人件費割合(%)	59.2
総コスト (A+B)		5,880	0	0	総コスト計	5,880
特定財源の名称 (使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
地域人権啓発活動活性化事業		その他	人権啓発活動地方委託事業実施計画			定額

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	国宝の里づくり事業		担当部課	教育部	文化課	
事業目的	糸島市には国宝をはじめとする多くの貴重な文化財が存在する。これを活用して、シンポジウム、体験講座などを開催し、その重要性を市民に周知し、郷土の誇りとして認識してもらうと共に、糸島ブランドの1つの柱として意義付ける。		事業主体	糸島市		
			実施方法	直営		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古代史シンポジウム及び特別展 伊都国をアピールする歴史シンポジウムの開催 H27 平原遺跡発掘50周年 H28 国宝指定10周年 ・体験講座 伊都国王墓をテーマとした市民参加型イベント(体験会) 伊都国の金属器鑄造体験講座の実施 平原王墓の大柱樹立体験会等 		進捗状況・現状	糸島市には多数の貴重な文化財が存在するが、市民にその価値が十分認識されていない。文化財の価値を市民に認識してもらうために、文化財を活用し、その価値を市民に認識してもらう取り組みが必要である。		
事業期間	平成27年度～平成29年度(3年間)		会計種類	一般会計		
総事業費	6,600	千円	(うち市予算化分)	6,600	千円	
			予算科目	款	項	目
				10	4	4
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値
市民	貴重な文化財を活用した事業が実施される	活動指標	歴史シンポジウム・体験講座等の開催件数(件)	0	0	6
		成果指標	歴史シンポジウム・体験講座等の参加者数(延べ人数)	0	0	2,000

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金	1,100	1,100		2,200
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,100	1,100		2,200
	一般財源				
事業費(A)		2,200	2,200	0	4,400
事業費内訳(主なもの)		謝金、印刷製本費、委託料、使用料および賃借料	謝金、印刷製本費、委託料、使用料および賃借料		
従事職員数(人)		0.1	0.1		平均人件費 8,700
人件費(B)		870	870	0	人件費割合(%) 28.3
総コスト(A+B)		3,070	3,070	0	総コスト計 6,140
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫補助金	国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱(国宝重要文化財等保存整備費補助金)			50%
糸島市定住・ブランド基金	その他	糸島市定住・ブランド基金条例			

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(5) 文化・芸術の創造
施 策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	史跡怡土城跡保存修理事業			担当部課	教育部	文化課		
事業目的	史跡怡土城跡を崩壊から守るために、保存修理工事を行う。			事業主体	糸島市			
				実施方法	直営			
事業内容	史跡怡土城跡の公有化を実施した高来寺、大門、高祖において遺構である土塁が崩壊する危険性が高い箇所があり、史跡を崩壊から守るために、保存修理工事を行う。			進捗状況・現状	史跡怡土城跡の公有化を実施した高来寺、大門、高祖において遺構である土塁が崩壊する危険性が高い箇所がある。このままの状態では放置すれば、土塁が崩壊し隣地に流れ込む可能性が高い。 H26年度：高来寺97他、高祖1402他			
事業期間	平成27年度～平成29年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	15,000	千円	(うち市予算化分) 15,000	千円	予算科目	款	項	目
						10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)			事業開始時	現在値	最終目標値	
市民・近隣住民	史跡怡土城跡を崩壊から守る	活動指標	保存修理工事の実施(箇所)			2	2	8
		成果指標	怡土城跡土塁の崩落件数(件)			0	0	0

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	(単位:千円)	
					合計	
財源内訳	国庫支出金	2,488	2,500		4,988	
	県支出金	300	300		600	
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,191	2,200		4,391	
事業費(A)		4,979	5,000	0	9,979	
事業費内訳(主なもの)		設計委託料 監理委託料 工事請負費	設計委託料 監理委託料 工事請負費			
従事職員数(人)		0.1	0.1		平均人件費	8,700
人件費(B)		870	870	0	人件費割合(%)	14.8
総コスト(A+B)		5,849	5,870	0	総コスト計	11,719
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫補助金		国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱(国宝重要文化財等保存整備費補助金)			50%
県費補助金		県支出金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱(福岡県文化財保護事業補助金)			15%(限度額300千円)

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	史跡等公有化事業			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	市民の財産であり文化資源である国指定史跡を将来的に史跡公園として整備するために指定地内の民有地を公有化する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	史跡指定地内の民有地の土地買上げ。不動産の鑑定評価額をもとに土地及び建物補償費を算出し、地権者と用地買収交渉を行い、正常価格内で土地を買上げを行う。 公有化の進展にあわせ、史跡整備の実施計画・設計を行い、将来的に史跡公園として整備する。			進捗状況・現状	H22年度 新町支石墓群用地買上 H23年度 新町支石墓群用地買上、曾根遺跡群用地買上 H24年度 新町支石墓群用地買上、曾根遺跡群用地買上、怡土城跡用地買上 H25年度 新町支石墓群用地買上、怡土城跡用地買上 H26年度 曾根遺跡群用地買上		
事業期間	平成19年度～平成28年度(10年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	516,175	千円	(うち市予算化分) 516,175	予算科目	款	項	目
					10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民、文化財研究者、歴史愛好者	国指定史跡が保存されること	活動指標	史跡の公有化面積(m ²)	245,591.77	265,463.66	289,591.77	
		成果指標	保存された国指定史跡の数	7	7	7	

【事業費について】

		(単位:千円)			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金	38,659			38,659
	県支出金	1,200			1,200
	地方債				
	その他	6,100			
	一般財源	2,365			2,365
事業費(A)		48,324	0	0	48,324
事業費内訳(主なもの)		不動産購入費 鑑定費用 移転補償費			
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費 8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%) 21.3
総コスト(A+B)		52,674	4,350	4,350	総コスト 61,374
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫補助金	国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱(国宝重要文化財等保存整備費補助金)			50%
県費補助金	県支出金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱(福岡県文化財保護事業補助金)			15%(限度額300千円)
糸島市ふるさと応援基金	その他	糸島市ふるさと応援寄附条例			

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(5) 文化・芸術の創造
施 策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	高祖神社社殿修理事業			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	福岡県指定有形文化財「高祖神社本殿」の修理事業を実施し、文化財の保存を図る。			事業主体	高祖神社		
				実施方法	補助		
事業内容	高祖神社が実施する社殿修理事業に補助を行う。 県費補助 50% (補助対象限度額10,000千円) 市費補助 25% (補助対象限度額 県費補助対象額に同じ)糸島市文化財保護事業等補助金交付規程			進捗状況・現状	高祖神社社殿は平成24年3月に福岡県指定有形文化財に指定されたが、屋根等の傷みが激しく修理が必要である。このため高祖神社が事業主体となって県費補助を受けて修理事業が実施される。 H24年度:防災設備工事、本殿修理工事設計、彩色調査 H26～28年度:本殿修理工事		
事業期間	平成25年度～平成28年度(4年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	83,255 千円	(うち市予算化分)	9,256 千円	予算科目	款	項	目
					10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	高祖神社本殿が保存される	活動指標	修理事業の実施	未実施	実施中	修理完了	
		成果指標	高祖神社本殿の保存	保存	保存	保存	

【事業費について】

		(単位:千円)			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	(5,000)			(5,000)
	地方債				
	その他	(17,665)			(17,665)
	一般財源	2,500			2,500
事業費(A)		(22,665) 2,500	0	0	(22,665) 2,500
事業費内訳(主なもの)		補助金			
従事職員数(人)		0.05			平均人件費 8,700
人件費(B)		435	0	0	人件費割合(%) 14.8
総コスト(A+B)		2,935	0	0	総コスト 2,935
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
県費補助金	県支出金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱(福岡県文化財保護事業補助金)			県費補助 50% (補助対象限度額10,000千円)

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(5) 文化・芸術の創造
施 策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	平原遺跡詳細調査報告書作成事業			担当部課	教育部	文化課		
事業目的	これまで刊行された2冊の調査報告書の成果をまとめるとともに、平原遺跡の最新の調査研究成果を発表し、その重要性を広く公開する。			事業主体	糸島市教育委員会			
				実施方法	直営			
事業内容	<p>平原方形周溝墓出土品の国宝指定10周年を記念し、平原遺跡の調査資料を整理し、その成果を総括的にまとめた報告書(総ページ数400頁)を作成して平原遺跡および伊都国の歴史的重要性を強くアピールする。</p> <p>また、昭和40年に実施された平原遺跡の発掘調査の写真などの記録類の保存を図るため、画像のデジタル保存を実施する。刊行した報告書のうち500部は希望者に有償頒布し、財政負担の軽減化を図る。</p>			進捗状況・現状	<p>平原遺跡の調査成果については、平成3年と12年に報告書が刊行されたが、前者が個人刊行物、後者は前者の補完的な報告であるため、遺跡の全容が理解しづらい。</p> <p>また、平成7～16年度に奈良文化財研究所で実施された修理事業の成果も公表されていない。</p>			
事業期間	平成28年度			会計種類	一般会計			
総事業費	4,500	千円	(うち市予算化分) 4,500	千円	予算科目	款	項	目
						10	4	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	郷土の歴史文化への理解力の向上と郷土愛の醸成	活動指標	未整理の平原遺跡調査記録の解消(%)	0	0	100		
		成果指標	平原遺跡発掘調査報告書の有償頒布実績(冊)	0	0	500		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,500			4,500	
事業費(A)		4,500	0	0	4,500	
事業費内訳(主なもの)		発掘調査報告書印刷製本費 3,780千円				
従事職員数(人)		0.25			平均人件費	8,700
人件費(B)		2,175	0	0	人件費割合(%)	32.6
総コスト(A+B)		6,675	0	0	総コスト計	6,675
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑩ 文化財の保護を推進し、積極的に情報を発信する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(補助事業)			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	伊都国の拠点集落である三雲・井原遺跡をはじめとする市内の重要遺跡を保護し、史跡指定、整備活用を行うため、発掘調査を実施し、その成果を基に調査研究を行い遺跡の実態を解明する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	直営		
事業内容	重機により遺跡が存在する深さまで表土を除去し、作業員を投入し、人力により遺構検出、掘り下げを行う。その後、遺跡の測量、実測、写真撮影を行い、出土品を取り上げ、埋め戻す。取り上げた出土品は復元室において、洗浄、ナンバーリング、接合復元作業を行い、必要に応じて実測、写真撮影を行う。			進捗状況・現状	H23年度;三雲南小路地区・三雲屋敷地区・志登松本遺跡発掘調査、三雲地区測量基準点設置 H24年度;三雲南小路・屋敷地区発掘調査 H25年度;三雲南小路地区・史跡怡土城跡発掘調査 H26年度;三雲番上地区発掘調査		
事業期間	昭和54年度～平成41年度(51年間)			会計種類	一般会計		
総事業費	789,496	千円	(うち市予算化分) 789,496	予算科目	款	項	目
					10	4	5
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民、文化財研究者、歴史愛好者	重要遺跡の実態の解明	活動指標	重要遺跡の調査報告書(冊)	0	7	10	
		成果指標	国指定史跡の新規又は追加指定件数	0	0	2	

【事業費について】

		(単位:千円)			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000	4,000	12,000
	県支出金	300	300	300	900
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,700	3,700	3,700	11,100
事業費(A)		8,000	8,000	8,000	24,000
事業費内訳(主なもの)		賃金 委託料 使用料および賃借料	賃金 委託料 使用料および賃借料	賃金 委託料 使用料および賃借料	
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費 8,700
人件費(B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合(%) 35.2
総コスト(A+B)		12,350	12,350	12,350	総コスト計 37,050
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
国庫補助金	国庫支出金	文化財保存事業費関係補助金交付要綱(国宝重要文化財等保存整備費補助金)			50%
県費補助金	県支出金	福岡県文化財保護事業補助金交付要綱(福岡県文化財保護事業補助金)			15%(限度額300千円)

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政策	(5) 文化・芸術の創造
施策	⑪ 文化施設を整備し、文化・芸術活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事業名	伊都文化会館改修工事			担当部課	教育部	文化課	
事業目的	文化・芸術の活動及び発表の場の拠点である。伊都文化会館は、竣工より28年が経過しており、各所に劣化がみられる。会場の運営に支障をきたさないように事前に改修を行い、市民に良好で安全な施設を提供する。			事業主体	糸島市		
				実施方法	一部委託		
事業内容	不具合が出ているものや、経年劣化が激しいものを計画的に改修を行う。 緊急なものとして舞台設備の更新(床改修、照明設備の更新)空調設備の更新(研修棟、ホール棟)、エレベーター設置、外壁の改修、内装、建具の改修を行う。			進捗状況・現状	平成27年度	壁工事、空調熱源改修	
事業期間	平成26年度～平成28年度(3年間)				平成26年度	実施設計	
総事業費	201,171千円	千円	(うち市予算化分) 201,171千円	千円	予算科目	平成25年度	屋上防水工事ほか
						平成24年度	研修棟空調熱源改修
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値	
市民	市民の文化活動を支えることができる文化施設の維持	活動指標	大規模改修実施箇所数	0	0	12	
		成果指標	伊都文化会館の利用者増	94,160人	94,160人	100,000人以上の利用	

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	67,409			67,409	
	県支出金					
	地方債	66,390			66,390	
	その他					
	一般財源	7,430			7,430	
事業費(A)		141,229	0	0	141,229	
事業費内訳(主なもの)		改修工事				
従事職員数(人)		1			平均人件費	8,700
人件費(B)		8,700	0	0	人件費割合(%)	5.8
総コスト(A+B)		149,929	0	0	総コスト計	149,929
特定財源の名称(使途が定められた財源)	財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等	
社会資本整備総合交付金	国庫支出金	社会資本整備総合交付金交付要綱			50%	
公共事業等債	地方債				90%	

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(5) 文化・芸術の創造
施 策	① 文化施設を整備し、文化・芸術活動を推進する
重点プロジェクト	該当なし

【事業の内容について】

事 業 名	伊都文化会館文化振興イベント開催事業			担当部課	教育部	文化課		
事業目的	伊都文化会館を活用しホールイベントに取り組むことで、糸島市内でも良質の芸術に触れる機会を確保し、住みやすく、感性を育み、芸術文化を大切に継承していく市であることを発信する。			事業主体	糸島市			
				実施方法	全面委託			
事業内容	伊都文化会館ホールで毎年コンサート等を開催する。 内容例 ジャズやクラシック等のコンサートや神楽等の伝統芸能の公演 集客目標 700人/回 事業内容 指定管理者に委託する。毎年事業計画により提案、市が承認する。市の希望がある場合は事前に協議し可能な範囲で取り入れる。 周知等 情報発信等は協力して行う。			進捗状況・現状	実績等	ジャズ祭(H26) 集客数 520人		
						浄瑠璃(H27) 集客数 702人		
事業期間	平成26年度～平成28年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	4,500	千円	(うち市予算化分) 4,500	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民	市民の文化活動を支えることができる文化施設の維持	活動指標	イベントの実施数	0	1	3		
		成果指標	イベントでの集客人員数(人)	0	520	1,800		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,500				1,500
事業費(A)		1,500	0	0		1,500
事業費内訳(主なもの)		事業委託費				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費(B)		1,740	0	0	人件費割合(%)	53.7
総コスト(A+B)		3,240	0	0	総コスト計	3,240
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等

基本目標5 みんなの力で進める協働のまちづくり

【糸島市長期総合計画に掲げる政策・施策】

政 策	(6) 九州大学との交流の推進
施 策	⑫ 大学生、留学生、研究者への情報提供、生活環境整備、交流促進を図る
重点プロジェクト	九州大学を生かした地域づくりプロジェクト

【事業の内容について】

事 業 名	九州大学連携交流事業			担当部課	企画部	地域振興課		
事業目的	市民が主体的に行う九州大学との連携交流及び学生が地域で生きいきと活動する事業に対し補助金を交付し、九州大学との交流機会の増大を図り、相互理解を深める。			事業主体	市民			
				実施方法	補助			
事業内容	九州大学と地域の交流を目的とした事業に対して補助金を交付する。なお、28年度からは、市の重要施策である子どもたちの健全育成や学習意欲の向上に関する事業を重点的に補助する。 【市民団体提案事業】 ・九大と連携する先進的な取組、地域の要望など ・市民団体が提案する子どもたちの健全育成に関する取組 【学生団体提案事業】 ・学生団体が提案する市民との連携による先進的な取組など ・学生団体が提案する子どもたちの健全育成に関する取組			進捗状況 ・ 現状	平成22年度の事業開始から平成26年度までの間、延べ58件に対し補助を行っている。市民が九州大学をより身近に感じることで地域の活性化が図れるため、今後も継続して実施する必要がある。			
事業期間	平成28年度～平成30年度(3年間)			会計種類	一般会計			
総事業費	4,500	千円	(うち市予算化分) 4,500	千円	予算科目	款	項	目
						2	1	7
受益者	受益者の考えている価値	求められる成果(単位)		事業開始時	現在値	最終目標値		
市民 九州大学学生	交流機会の増	活動指標	補助事業数(延べ事業)	5	58	106		
		成果指標	交流事業(延べ事業)	23	145	235		

【事業費について】

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	1,500				1,500
	一般財源		1,500	1,500		3,000
事業費(A)		1,500	1,500	1,500		4,500
事業費内訳(主なもの)		補助金	補助金	補助金		
従事職員数(人)		0.4	0.4	0.4	平均人件費	8,700
人件費(B)		3,480	3,480	3,480	人件費割合(%)	69.9
総コスト(A+B)		4,980	4,980	4,980	総コスト計	14,940
特定財源の名称(使途が定められた財源)		財源の種類	根拠法令等			補助率、交付税措置率等
糸島市ふるさと応援基金		その他	糸島市ふるさと応援寄附条例			